

資料1-1 (医療と介護のありたい姿 と 令和元年度在宅医療・介護連携推進事業計画)

つくば市の医療と介護のありたい姿 平成30年度第2回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会の委員意見を参考に作成

- 1 在宅生活を高齢者が送るための包括的なサービスの提供とそのための医療介護の多職種連携体制の構築**
(医師やケアマネなど、誰でも顔が見えて、腹を割って話せる関係づくりと関係者が共通の目標に向かって行く関係づくり。医療、介護、福祉に携わる人材育成の強化)
- 2 在宅生活を送る高齢者の看取りに向けた環境作り**
(本人や家族の在宅医療への理解や多職種のACPの理解)
- 3 高齢者施設の利用や入所による在宅生活以外の選択肢の提供**
(在宅生活の延長としての施設での生活、家族を助けるための施設利用)
- 4 医療介護関係多職種のスキルの向上によるマネジメント力の強化**
(医療、介護、リハビリテーション、薬剤、ファシリテーション、コミュニケーションなどのスキル向上)
- 5 社会活動を行い、介護予防の対象となる高齢者に対する地域での支え合いと介護サービスの機能分化**
(効果的なサービス提供とサービス機能の分化)
- 6 独居高齢者の見守りや認知症高齢者の早期対応による悪化の防止**
(支援が必要な独居や認知症の高齢者への行政・事業者・地域による支援)
- 7 医療介護サービスにつながらない高齢者を見つけるためのコミュニケーションの強化**
(医療介護サービスが必要な高齢者に対して、利用を進めるための地域内のコミュニケーション力の向上)

令和元年度

在宅医療・介護連携推進事業計画

(ア) 地域医療・介護資源の把握

- ・在宅医療・介護連携推進事業のホームページの随時更新
- ・在宅医療と介護のサービスマップの普及 関係機関には400部配布、市民には随時配布予定
- ・介護保険情報誌ハートページの普及 関係機関に6000部配布、市民には随時配布予定
- ・医師と連携しやすい時間等を掲載した連携タイムの随時更新 * 医療機関への調査は12月頃実施予定

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ・つくば市在宅医療・介護連携推進協議会を開催し、実施事業の検討・評価
- ・地域ケア会議等で抽出された課題とその対応策の検討
- ・在宅医療・介護連携推進事業に関する意識調査を高齡福祉計画策定に関する市民アンケートにおいて実施。現状の把握と課題の抽出、対応策の検討

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 (エ) 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援

・意見交換会の開催

- つくば市全体の多職種意見交換会 **令和元年8月23日**
- 退院調整看護師、MSWと在宅ケアチームとの意見交換会 **調整中**
- 民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センターその他の連携体制や情報提供の構築

・お薬手帳の活用強化（薬剤師会と連携事業）

・多職種連携会議の開催（職能団体相互間の理解促進） 2回予定

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・来庁やホームページ、電話、FAXなどでの、医療・介護関係者からの相談に対する支援 **随時**
- ・相談窓口としての、地域包括支援センターや在宅介護支援センターの啓発

(カ) 医療・介護関係者の研修会

- ・地域リーダー研修会を開催 **R 2年（2020年）2月予定**
- ・ケアマネジャー等の（医療やリハなどの）研修会の実施

**令和元年11月26日
18：30～20：00**

(キ) 地域住民への普及啓発

- ・地域の医師・CMによる在宅医療・介護啓発講座の全地区開催
- ・在宅医療等に関する市民向け講演会の開催 令和2年2月8日
- ・つくば市出前講座 在宅医療・在宅介護
- ・看取りについて、パンフレット等での普及啓発
- ・在宅医療と介護のサービスマップの普及
- ・介護保険情報誌ハートページの普及

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村との連携

- ・近隣市町村との会議等による情報共有の実施
令和元年5月30日 武蔵野市副市長と健康福祉部との意見交換会